社説

臺灣の事唯英斷と待つ

我輩が臺灣の失政を示して其改革を促したるは一再に止まらず當局者に於ても自から捨置き難しと感じたるか昨今何か相談中のよしなれども聞く所に據れば目覺しき英斷は迚も見る可らず唯僅に民政局と軍務局とを廢して其局長の代りに夫れ〳〵事務長とか參謀長とか稱す可きものを置くに過ぎざる可しと云ふ果して然らんには改革は眞に名のみにして見るに足らず元來新領地の不始末は其原因一にして足らざれども主として總督に權力なく其頭上に邪魔物ありて運動自由ならざるが爲めにして有力者と雖も如何ともす可らず況んや然らざるものをや左れば其面目を一新せんには先づ拓殖務省を廢して總督に全權を委任し國中第一流の元老を擧て之に任ずると共に文明流の後才を擇で次官と爲し以て實際の事務を料理せしむるの外に策ある可らず尙は詳しく云へば今の仕組にては總督は恰も一屬僚に過ぎずして第一、有力者は其任に當るを好まず以下の面々も安じて事務に勉强する能はず何れも一時の腰掛として只管一身の計に汲々たるが故に自から醜態百出するみとなれども今若し總督の身分を重くして恰も藩王の如くならしめなば功名心に驅られて第一流の政治家も喜んで其任に當ると共に次官以下大小の官吏にも自から其人を得て着々功を奏す可し事理明白癡を容れざる所なるに政府は何故に姑息の改革に滿足せんと欲するか是れも亦例の惰實蔽に窮して心の中には利害の存する所を知りながら敢て斷ずるの勇なきものならん果して然らんには戰勝唯一の紀念物を以て區々たる惰實の犧牲に供するものにして斷じて容す可らず或は當局者に於て今後大に勉强して必ず治績を擧ぐ可しと云はんか我輩に於ては其言を信ずる能はず是迄とても敢て怠りしに非ず相應に注意もし又奮發もしたるみとならんに然るに今日の不始末を免れざりしを見れば今後大に勉强したればとて格別の効能なきは分り切たるみとなり現に昨今の始末を見ても將來の成行は大抵察するに難からず失政の罪を民政局長に歸しながら之を拓殖務次官に榮轉せしめんとしたるは第一の不思議にして一度は衆議院書記官長を民政局長の後任と決したるに總督の異論に依て忽ち前議を飜へし更らに書記官長を次官に任ずると共に局長を罷免して民政局を廢せんとするが如きは飜々として一も定見なきを示すものにして其他臺灣の經費を減じては增し事務都を廢せんとしては又存するなど俗吏みれを評すれば狐を馬に乘せたるが如くにして大政府の威嚴とは認め難し左れば前述の如く其組織を根本より改正して當局に大人物を得るに非ざれば到底革新の盤なきは明白にして正に內閣の英斷を要する所なるに尙は優柔不斷とあれば我輩は最早や政府を相手とせず不本意ながら轉じて他に向て大聲疾呼する所なきを得ず失政の著しきものあれば議會[illegible]の[illegible]督者として內閣の信任を問ふ可き事にして[illegible]に[illegible]の手[illegible]を取り[illegible]擧干涉、官紀[illegible]など唱[illegible]て[illegible]少の事にも[illegible]しく爭ふたる例もあり今臺灣は[illegible]て得たる新領地にして其治績の擧否は帝國の面目に關するみと甚だ大なり特に各國は嫉妬の目を以て環視するみとなればいよ〳〵統御の法を誤るに於ては或は意外の故障を見るに至るやも知る可らず然るに其不始末は言語道斷、總督府の膝下に於てすら生命財產の安全を得ず甚だしきは官吏の中に强盜罪を犯すものあり詐欺取財收賄等の犯罪者續發者は續々雜出して其醜體の眞面目を記すは筆紙の穢として爰に之を略する程の次第なり若しも選擧干涉や一二官吏の不品行を以て內閣を强劾するの價ありとすれば臺灣の不始末に付て更らに大聲疾呼して當路者の信任を問ふの値ある可し自由黨は今や政府の反對に立て其施政を非難するものなり嘗に自由黨のみならず進步黨も亦默々の爲合に非ず彼等の自から揚言する所に據れば進步黨は政府の擧動を監視するものにして當局者の政策と雖も卒生の意見に違ふものあれば無論非難するに躊躇せざる可しと云ふ果して然らば臺灣の不始末の如き固より不問に附するを待ず如何に詭辯を弄するも眼前の黑白を誣るみと能はざるのみか現に進步黨の機關新聞にして不始末の次第を縷々揭載するものあり左れば臺灣問題は當局者に於て早く自から始末するに非ずんば次の議會に於て內閣死活の問題と爲るは明白にして我輩の氣の毒に思ふ所なれども因循姑息の結果藏に止むを得ざるなり若しも其時に及で狼狽の失體なからんと欲せば只速に英斷を斷ず可きのみ

○東京の市區改正委員會（十）

明治十八年の市區改正審査委員會にて調査決定したる設計は前號にも記す如く重に地表面の改正のみなるが故に文明の都府としては必要なる地下の設計例へば水道下水、電氣事業等の埋設工事は勿論其他家屋建築の制限並に空中に架設する高架鐵道、電氣線路等の事に就ては更らに計畫したるところなく品川灣築港の問題すら遂に決定するに至らずして止みたるは爾後此業を繼續するものに於て之を補足せんとを期したるものなり故に今日よりして此審査會の議決を見れば欠點甚だ多しと雖も其欠點は設計の惡しきにあらずして唯其當時急施を必要とせざりしものを後日の評議に讓りしのみ然るに此調査會の復申を基礎として明治二十一年來今日まで輾轉するところの內務省なる東京市區改正委員會は如何なる仕事を爲せしかと云ふに爾來水道敷設に就て些かに其蹟に與りし外には何の施設もなく專に審査會が計畫を立てし此委員會に期したる事も一向顧慮せざるもの〳〵如し蓋し委員は執れも本職の片手間に厄介なる仕事を引受けたるの感あるみとならん抑も明治二十年勅令を以て市區改正を發布さるゝや衛生、防火、通運、營業の四項目を以て限目と爲し先きに審査會が提出したる案を基礎として築々實行を期したるものにして委員會に於て是非とも之を遂行せんとの希望を抱き熱心其業に當らんには今日まで足掛け十年間の成蹟は必ず觀る可きものありしならんと雖も官制に據れば委員會の議決を實行するには東京市會へ提出して其承諾を求め費金の支出を乞はざる可からず然るに東京市會は財政の破綻に於て其例を示せる如く因循姑息を事とするが故に市區改正の如きは常に議場に歡迎されずして廢案と爲るもの少からざる爲め內務省の委員會も最初の間一二回は市會と關ふて之を服從せしめたる事ありと雖も元來市區改正委員會といふは各省の高等官の兼任者と市會議員中より任選されしものより成立するが故に其本職の變ずる都度委員會の顏も變りて遂には此事に熱心なる人も減じたるのみならず稀に熱心なる人顏るゝも市會に於て否決さるゝが爲め終には失望して放任主義に流るゝ事と爲りしなり元來市區改正の如き困難なる事業を斯る無責任の委員會に託したるは失策といふ可し

委員會の事情斯の如くにして之に對する市會の情態も既に世間に知られ居る如くなれば市區改正の事業遲々として進まざるも偶然に非ざるなり

○地方事情（九）

米澤（七月十四日發信）

●產業　重要產物米澤織は同業組合の組織成りてより長足の進步をなし同業組合の檢證標の添付なきは米澤織にあらずとまで宣言するに至り染色に至ては不變不褪大に購買者の安心を買ふに足れるも未だ組織上不完全の所ありとの論同業者間に行はれ囂々組合規約の改正を主張し居り不日完全の米澤織を見る事ならん從て販路甚だ廣く數百の織元尙ほ供給するに足らず

●金融　は產業の盛なるに共に好景氣なりしも取引所に於て近來未曾有の四萬石以上の取引ありしを爲め二十萬以上の金一時に引絞られ一時豫想の外に逼迫せり而して未だ回復の模樣なし併し金利には別段の異狀なきが如し

●物價　凡て二倍の騰貴なり就中昨今取引所の取引の爲め米價暴騰して白米一升十三錢五厘まで至り貧民の困難名狀すべきにあらず木炭一貫目六錢五厘醬油一升十八錢清酒一升三十錢なり

●地價　物價騰貴に準じ買手少きが爲めか產業資本の流通の爲めか鬼に角買手なき爲め割合に騰貴せず一般田地の價は一段百五十圓より二百圓までなり

●賃銀　最下等の勞働者は昨年末までは二十錢前後なりしも當今騰貴して三十五錢時に絹織業職工の如きは非常に騰貴して一例を擧ぐれば妙齡の婦女にして月額六圓乃至八九圓其しきは十二三圓の收入あるが如し

●學校　產業の進步と共に近來市立工業學校起り實業學校起り共に學理と實地とを教ふるが故に技術進步は疑を容れず戶々の徒弟亦一日二三時間學習するの便あり

●交通　四面皆疊々重に登ゆる山嶽にて未だ鐵道の便なき故運輸最も不便にして交通更に少く之が爲め商業眠れるが如きも明年は鐵道實通の事故商業工業家之が準備に汲々たる如く工業の團體商業の團體組織日として開かざるなし

●鐵道　福島米澤間工事中大工事たる隧道又は塡立の如きは大半破壞し今米澤を去る里餘の小寄坂隧道落成せば直に鐵路布設せらるべく本年中には米澤附近（一里を隔つ）關根村まで實通せしむるの見込なりといふ

●士風　六千の士族今尙ほ依然として舊態を墨守するが故に士風頹敗せずと雖ども之と同時に企業、投機に關しては寧ろ疎れるが如し併し近來水力電氣事業の創立者は之を制定するが如きは注意すべきの一なり

●生活　一般に生活の費しき輕動を興しも一見して注意す

●學生　六千の學生特色を有するが上に一種の特色を有するが上に一種の二百石に達せば二百石に達せば二百石に達せば